Feel the arts

電動の推だより

米沢市上杉博物館 置賜文化ホール Autumn 2022

別

華麗なる人脈、米沢との絆











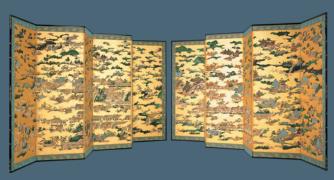
2022.9.17 ± -11.20 $\pm \frac{9:00-17:00}{9:00-17:00}$

 $^{\scriptscriptstyle{1}}$ 9.17 $_{\scriptstyle{1}}$ -10.16 $_{\scriptstyle{1}}$

10.22 **11.20 11.20**

[展示替] 10.17月~10.21金 休館日:9.28水、10.26水

どなたでも入館無料 東北文化の日 11月3日末祝



国宝「上杉本洛中洛外図屏風」 原本展示 10月22日(土)~11月20日(日)

常設展示室にて



前期 9月 17日 (土) ~ 10 月 16日 (日) 後期 10月 22日 (土) ~ 11 月 20日 (日)

11/3(木・祝) 東北文化の日 どなたでも 入館無料!

休館日:9/28(水)、10/26(水)

料 金 一般700円(560円) 高大生450円(360円) 小中生300円(240円) ※常設展示室と一体型、()は20名以上の団体料金 図録(A4判128ページ) 税込み1.870円、ネットショップもご利用ください。

旧米沢藩主上杉家には幕末から主に昭和10年代にかけて1,300点以上の写真が伝来していま す。当館では2016年開催の企画展「上杉家の古写真」以来、写真1点ずつの整理に加え、他の写真 資料の収集と比較、被写体や撮影時期の推定、文献資料との照合等の調査に取り組んできました。

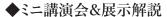
この成果をもとに、本展覧会では斉憲・茂憲・憲章と三代にわたる上杉家当主と家族の肖像を通 して上杉家の動向と写真との関わりを紹介します。特に最後の米沢藩主茂憲は明治5年(1872)に 英国に留学、後に沖縄県令を務めたことで、現地の風景や交流した人々の貴重な写真を見ることが できます。親類はじめ旧大名や明治の元勲の肖像、憲章の妻房子(公爵鷹司家出身)と友人達の写 真は、上杉家の華麗な人脈の証です。米沢の邸宅や宝物、行事と名所を捉えた明治時代中期以降 の写真は、上杉家と米沢の強い結びつきを物語ります。上杉家の人々が明治時代に旅した熱海や 有馬温泉など日本各地の風景写真も見逃せません。

本展覧会では前後期あわせて250点以上を展示し、上杉家伝来写真の魅力と特徴、その全容に 迫ります。他では見られない、まだ目にしたことのない写真に、きっと出会えることでしょう。

※以下の事業は、事前申込制です(受付中)。

◆講演会「写真史から見る上杉家伝来写真の魅力 | 日時:10月1日(土)14:00~、伝国の杜2階大会議室にて

講師:三井 圭司 氏(公益財団法人東京都歴史文化財団学芸員) 定員先着80名



「写真資料の修理と保存 ~幕末明治の写真から現代の家族写真まで~」

◆ギャラリートーク(担当学芸員による展示資料解説) ※開催時間にご注意ください。 ① 9月17日(土) 17:15~「ここに注目!展覧会の見どころ」定員先着20名 ②10月22日(土) 9:15~「上杉伯爵家の人脈と地元米沢での活動」定員先着10名

日時:11月5日(土)14:00~、伝国の杜2階大会議室にて

講師:三木麻里氏(写真保存修復)

企画展示室にて、要特別展入館料

要特別展入館料、定員先着30名



首里城内部 明治14~16年(1881~83)【前期】



上杉家写真アルバム 明治時代中期【通期】

鷹司房子(12歳)

明治33年(1900)【後期】 (以下、全て個人蔵)

上杉瞱 (勝道夫人) 幕末【通期】、当館蔵

上杉伯爵邸 上段拝謁の間 明治41年(1908)【前期】

コレクション展上杉文書をひらく

料 金 一般210(160)円 高大生110(80)円 小中生50(40)円 ※()は20名以上の団体料金

「上杉文書」とは、昭和29年(1954)に上杉家から米沢市に寄贈された史料群で、 米沢藩の藩政史料が大部分を占めます。主に米沢藩御記録所で作成された記録と、 一部に中世史料や林泉文庫(伊佐早謙所蔵本)から編入された史料を含み、その数 は約1万点に及びます。

上杉文書の史料的価値は以前より高く評価され、研究に供されてきましたが、詳細 な目録が作成・公開されていないため、その全容を明らかにする必要がありました。そ こで、米沢市と当館では、文化庁の補助を受けて令和3年度より調査事業を進めてい ます。

本展覧会では、これまで積み重ねてきた調査成果の一部を紹介し、上杉文書につい て知る機会とします。普段の展示では紹介しきれない米沢藩の諸相を、多様な資料か らご紹介します。

※以下の事業は、事前申込制です。

◆ギャラリートーク(担当学芸員による展示資料解説)

日時: ①12月3日(土) 17:15 ~ ②2023年1月7日(土) 9:15 ~ いずれも定員20名 企画展示室にて、要企画展入館料 ※11/7(月)9:00~受付開始

12月3日(土)~2023年1月15日(日)

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌平日) 年末年始(12月26日~2023年1月1日)



米沢仙台領際絵図控 元禄12年(1699) 10月28日



「斉憲公御年譜草稿」 明治時代後期

米沢市上杉博物館アートコレクション

女性像の世界/

2023年2月11日(土·祝) ~ 3 月21日(火·祝) 休館日:毎週月曜日

いま見せたい!Curator's Choice

料 金 一般210(160)円 高大生110(80)円 小中生50(40)円 ※()は20名以上の団体料金

女性を主題とした作品には、その時代の社会を反映した女性観、 ファッションや風俗など様々な要素がちりばめられています。浮世 絵に代表される「美人画」と呼ばれるジャンルにはじまり、大正期以 降は個性や自我を持った女性の表現へと変化します。また、作家の 妻・娘などの身近な存在も作品に表されるようになりました。さらに は作者が女性像に自己の思想や理想を託すなど、多様な表現が 模索されています。

本展覧会では、当館の美術コレクションの中から、女性像をテー マに、そこに内包された意味や反映された社会の動き、そして作家 の心情などを交えて幅広く紹介します。また、第二部として館蔵の美 術資料の中から新収蔵品、未公開資料を中心に選んだ作品を展 示し、多彩な美術作品をご紹介します。

※以下の事業は、事前申込制です。

◆ギャラリートーク(担当学芸員による展示資料解説) 日時:2月18日(土)9:15~ 定員20名 企画展示室にて、要コレクション展入館料 ※2023年1月11日(水)9:00~受付開始



吉池青園「縁側」 紙本着色、大正時代



紙本着色、1977年



椿貞雄「朝子像」 キャンバス・油彩、1938年



浜田浜雄「私は鬼になったの| 板・油彩、1951年

★要常設展入館料

各回10:00~と15:00~の2回行います。

常設展示室 上杉文華館

かんとうかんれい 年間テーマ:関東管領上杉氏

2022年度の上杉文華館は、国宝「上杉本洛中洛外図屏風」(複製)と、国 宝「上杉家文書」から長尾景虎(上杉謙信)が名跡を継承した山内上杉氏に 関する古文書を展示します。山内上杉氏は、室町幕府が関東支配のための 地方機関として設置した鎌倉府のナンバー2の地位にあった関東管領を家職 とし、室町時代の政局に大きな影響を与える存在でした。この展示では、そ

の動向に迫っていきます。国宝「上杉家 文書 | は約一か月ごとに展示替えします。 ※内容は変更になる場合があります。

> ^{あうえい} 応永24年(1417)閏5月24日足利持氏料所所進状▶ 上杉禅秀の乱後、実母に所領を進呈した文書。 「もち持」と署名。



(7) 9月29日(木)~10月25日(火)「応永の乱」 CT: 10/2(目)

⑧10月27日(木)~11月23日(水祝)「上杉禅秀の乱」CT:11/6(日) (9)11月25日(金)~12月25日(日)「武蔵守護」 CT:12/4(日)

⑩2023年1月2日(月振)~1月29日(日)「永享の乱 | CT: 1/8(日)

① 1月31日(火)~ 2月26日(日)「享徳の乱」 CT: 2/5(B)

② 2月28日(火)~ 3月26日(日)「北条氏との抗争」 CT: 3/5(日)

国宝「上杉本洛中洛外図屏風」(複製)もご覧いただけます。

モールの作品展示予定 Uesugi Museum Art Collection モールはかきな美術館

*展示作品は都合により 変更になる場合があります。

総合案内前では、当館アートコレクションから郷土作家をメインに作品を定期的に入れ替えながら展示しています。 ご来館の際はぜひ足を止めてご覧ください。

■9月29日(木)~11月23日(水·祝) 浜田浜雄 作品名未詳 1951年 油彩・キャンバス ほか

> ■浜田浜雄「作品名未詳(太陽)」 板·油彩

■11月25日(金)~2023年1月22日(日) 黒澤梧郎 「綱木民家」 紙・ペン・油彩 制作年未詳(昭和~平成) ほか



■黒澤梧郎「南原民家」 制作年未詳

■1月24日(火)~3月26日(日)



■福王寺法林「朝富十」 制作年未詳(平成)

ps プレイショップ×遊形

- ・申し込み不要(入室定員15名)※団体利用は要事前予約。
- ・手指消毒、マスク着用にご協力下さい。
- ・休館日は年間カレンダー、HPでご確認下さい。



9/23(金・祝) - 10/25(火) マーブリングに挑戦!



10/28(金) - 11/23(水・祝)

モールで作ろう



11/26(土) — 12/21(水) 紙粘土でつくる冬の和菓子



2023.1/2(月•振)-1/25(水) ハニカムペーパーでつくろう!



1/27(金) - 2/23(木・祝)

型絵染で知る日本の文様



 $2/25(\pm) - 3/22(水)$ 紙でつくろう!かわいいおひなさま

募集制ワークショップ

チルドレンキュレーターズ18 こども学芸員の育成

現在5名が博物館のバックヤードを 中心に活躍しています。



R4年度テーマ

「資料の整理と保存



春、藍の植え込み

WS 募集制 ワークショップ

誰もしらない博物館

~博物館バックヤードツアー~

博物館の裏側と意外と知られていない お仕事を紹介します。

11月3日(木・祝)13:30~15:30

定員 どなたでも15名 9/29(木)~受付



鑑賞

アートコレクションを たのしむ

●要事前申し込み・参加費:各500円

夜の博物館で展覧会をじっくり 鑑賞します。

2023年3月10日(金) 19:00 ~ 20:30

定員 20名(中学生以下は保護者同伴) 2/2(木)~受付





ws 自由為力端ワークショップ

●申込不要・参加無料

植物で染めよう 🧶

一和紙のテキスタイルデザインー

「たたきぞめ」で葉っぱや花の色を うつし取ってみよう。

9月24日(土) 13:00~15:30 先着30名程度(材料がなくなり次第終了)



むかしむかしをきこう

語り:米沢とんと昔の会

あたたかい方言の語りで昔語りを 聞いてみませんか?

10月29日(土) ①10:30~、②13:00~ 体験学習室北側ピロティ



出前授業、学校連携の事例などはホームページに掲載 しています。 詳細は下記にお気軽にご相談ください。 お問合せ 0238-26-8001 (教育普及担当) [E-mail] welcome@denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp





よいまちぐさ 「たより・宵待草」 吉池青園 大正時代 紙本着色 二曲一隻 各131.6×64.4cm

米沢市出身の吉池青園(1896~1924/明治29~大正13)は、米沢女学校(現山形県立米沢東高校)卒 業後、上京して池田輝方・蕉園夫妻に入門し、日本画を学びました。

縁側や軒先でもの思いにふける女性は、近世の浮世絵につながるいわゆる「美人画」の型に則って描 かれていますが、女性の着物に見られる大柄の縞や傘の文様に、大正期のファッションを見て取ることが できます。また、右側の女性の傍らには、女性の写真と思しきページが開かれた雑誌が添えられ、同時代 の女性像という主題が強調されています。女性のうるんだ目元口元などの描写は、師である池田蕉園の 影響を思わせます。当時、画家となる女性は男性に比べれば圧倒的に少なかったものの、池田蕉園、上村 松園など人気の女流画家の台頭で入門する女性が増加しました。屋外写生や裸体デッサンを伴う洋画よ りも、日本画の方が当時の女性には道が開けていたといえます。

青園は若くして亡くなったこともあり、現存する作品が少ないことが惜しまれます。しかし、短い画業の 中で青園が残した作品からは、女性ならではの視点による描写、大正期の風俗などを感じ取ることができ

※本作は、令和2年度に東北芸術工科大学文化財保存修復研究センターにて応急修理を行いました。





K沢市上杉博物館アートコレクション

ミュージアムショップから

伝国の杜日記

刀剣の新グッズ 好評発売中!

今年の春、大人気の刀剣グッズに新商品「銀地クリアファイル」が仲間 入りしました!ラインナップは「短刀 銘 吉光(号 五虎退)」、「太刀 銘 一(号 姫鶴一文字) |の2種類。裏面の銀地に、表面の刀身と押型風のデザイン が浮かび上がり、きりりと上品で美しいクリアファイルです。

刀剣銀地クリアファイル 五虎退(左) 刀剣銀地クリアファイル 姫鶴一文字(右) (各528円(税込) A4サイズ)







ショップの情報は こちらから

~紅花の成長を見守る~

映画「紅花の守人」上映をきっかけに広場に作っ た小さな紅花畑。

紅花摘みはトゲが刺さって痛い作業ですが、 間引いた若菜や摘んだ花びらは「食べてよし」。

染色に用いると他に勝る魅惑の色を発して「染 めてよし」。

満開の見頃には足を止める観光客も多く「見て よし |の人気スポットに。



最近の催事から

特別展「戦国京都と上杉家」(4月16日(土)~6月19日(日))

春の特別展「戦国京都と上 杉家」の後期展示(5/21~6/19) では、重要美術品「短刀 銘 吉 光(号五虎退)」(個人蔵)の展 示に合わせ、人気ゲーム「刀 剣乱舞-ONLINE-」とのコラ ボ企画を開催。刀剣男士「五 虎退」の等身大パネル・描き 下ろしイラストを館内に展示 したほか、5月29日(日)には



「おっきいこんのすけ」の撮影会を行いました。能舞台前の撮影会 場は、全国から多くの人が集まり、大変にぎわいました。

8月11日(木・祝)

マエストロがナビゲート! オーケストラの職場体験

山響ユアタウンコンサートの前日、公開リハー サルが行われました。スッペ「軽騎兵 |序曲やベー トーヴェン「交響曲第7番 |を指揮者の声とともに 聴き、音が変わっていく瞬間を体験した後、指 揮者の飯森範親さんとの質問タイム。参加した

子ども達は、オーケス トラを指揮する気持 ち、音楽家の仕事、ピ アノの練習へのアドバ イスなど、様々な質問 に丁寧に答えていただ きました。



市立米沢図書館 Book & Art よねざわ市民ギャラリー

市立米沢図書館・よねざわ市民ギャラリーからのおしらせ --

米沢市中央1丁目10-6 TEL 図書館:0238-26-3010/ギャラリー:0238-22-6400

◆10月28日(金)~11月6日(日) 2022読書週間図書館フェア

バックヤード(書庫)ツアー、本と雑誌のリサイクル市、 付録抽選会、読書会、ぬいぐるみのおとまりかいなど の各種イベント、多目的展示室での関連展示を行います。

市民ギャラリーの展示

◆オープンギャラリー ~2023年4月26日(水) 上杉博物館アートコレクション「桜井祐一~生命の造形~|



先人顕彰コーナー(多目的展示室)の展示

◆8月26日(金)~10月26日(水) 「古典籍の世界 当館コレクションより」

明治42年(1909)の開館以来、当館で収集してきたコレクションの中から 和装本の特徴的な資料を選定し、和とじの本の世界について展示紹介します。

◆11月25日(金)~2023年1月25日(水) 「映画『スウィングガールズ』をふりかえる」

置賜地域で撮影された映画「スウィングガールズ」の公開20周年を前に、 公開当時のトレンドやベストセラー本の紹介と共に作品をふりかえります。





バックヤードツアーの様子

◆12月7日(水)~12月11日(日) 「米沢市小中学生読書感想画展」

▶2023年3月11日(十)~3月19日(日) 「ARTS MEET OKITAMA 2023 & AMO2022大賞 佐藤玲子展」

置賜ゆかりの方を対象とした公募展及び前回の大賞受賞者の個展を開催します。

いずれも入場無料です。※コロナ感染拡大状況に応じて変更になる場合もあります。

10/29(土) 14:00開演

MAYA フォルクローレ・コンサート

フォルクローレとは、南米の主にアンデス地方に伝わる伝承音楽であり、ま たそこから発展した大衆音楽です。『コンドルは飛んで行く』などの代表曲か らも感じられる牧歌的でノスタルジックな音楽は、現地の人だけでなく世界中 で愛されています。

MAYAのメンバーは、5人それぞれが現地の演奏家からも高い評価を得て いる、日本を代表するフォルクローレの演奏家であり、ソロでも圧巻のパフォー マンスを披露しています。5人がそれぞれの個性をぶつけながらの演奏は、皆 さまをあっという間にアンデスの世界へとお連れします。

演奏の間のトークも楽しく、ファンになる人が続出するコンサート。あなたも フォルクローレの魅力にはまること間違いなしです。



ticket

(当日2,500円)

【全席指定】2,000円

※未就学児は入場できません。

MAYA



予定プログラム

- ・コンドルは飛んで行く ・リャキ・ルナ
- ・マチュピチュ ・ククリーノ ほか ※変更の可能性もあります。

MAYA メンバー

橋本仁 ケーナ、サンポーニャほか

サンポーニャ、ケーナ、パーカッションほか 岡田浩安

寺澤むつみ ギター、チャランゴほか TOYO 草薙 チャランゴ、マンドリンほか ケーナ、パーカッションほか 渡辺大輔

11/27 (日) 14:00開演

山崎バニラの活弁大絵巻 in よねざわ



山崎バニラ

ticket

【全席指定】2,000円

※未就学児は入場できません。 (当日2,500円)

その昔、映画がまだ映像のみで、「活動写真」と呼ばれていたころ。映像にあわせて 情感たっぷりに語る「活動写真弁士」、略して「活弁士」が活躍していました。活弁士は 当時の映画に欠かせない存在でしたが、映画の技術が発達し音声・音楽がつくように なると途端にその数が減ってしまいました。

古き良き映画を伝えている山崎バニラが伝国の杜にやってきます。独特のヘリウム ボイスに金髪おかっぱ頭がトレードマークで、大正琴やピアノを弾き語りながらの活弁 スタイルは史上初で唯一の芸です。

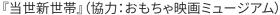
各地で名調子を披露してきましたが、山形での上映会は初。懐かしさを通り越して、 いまや新感覚ともいえる活動写真と活弁の面白さを体感してみてください。

上映作品紹介

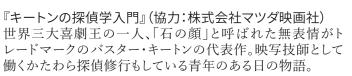
『活動写真いまむかし』

(協力:おもちゃ映画ミュージアム/喜劇映画研究会)

そもそも映画はどのように始まったのか、活弁とは何か、就職 活動に敗れた私はどのように活弁士になったのか、などをわ かりやすくご紹介。



阪東妻三郎の世界配給を視野に立ち上げたものの、主演映 画を輸出できずに潰えてしまった阪妻・立花・ユニヴァーサ ル連合映画。35本の作品のうち、唯一残るたいへん楽しい 人情噺。









2023年 2/5 (日) 14:00開演

須川展也 with Quintet Prism コンサート



ticket

これまでありそうでなかった組み合わせのユニットが置賜文化ホールにやってきます。

日本を代表するサクソフォン奏者・須川展也と、音楽家としての実力に加え、楽しいトークも魅力のヴァイオリニスト・奥村愛を中心に、サクソフォンとクインテットの組合せによる楽しいコンサートをお届けします。

サクソフォンと弦楽のハーモニーが、変幻自在の光の"プリズム"のように音が重なり、光煌くアンサンブルに大変身。クラシックだけでなく、ジャズやポップス、映画音楽など幅広いレパートリーで老若男女誰もが楽しめるコンサートです。

心が温かくなる楽曲を揃えて、皆様のお越しをお待ちしています。

メンバー 須川展也(サクソフォン) 奥村愛(ヴァイオリン) 前田尚徳(ヴァイオリン) 山田那央(ヴィオラ) 奥村景(チェロ)

小柳美奈子 (ピアノ)



奥村愛 ◎小島竜生

須川展也

【全席指定】一般2,500円 学生1,000円 ※未就学児は入場できません。(当日各500円増)

発売日

伝国の杜FC会員先行予約 10/19(水)~ 23(日) 一般発売 10/27(木)

2023年 3/8 (水) 18:30 開演

伝国の杜春待ち寄席 三遊亭小遊三・柳家喬太郎二人会



三遊亭小遊三

生き生きとした落語で客席を幸せにしてくれる三遊亭小遊三と、 軽妙な語り口で爆笑をさらっていく柳家喬太郎による落語会を開催 します。

人気テレビ番組での明るいキャラクターで知られている小遊三は、江戸時代の下町の風情を体感できるような本格派の古典落語が圧巻です。古典から新作まで多彩なレパートリーを持つ喬太郎は置賜文化ホール初登場。初めての人も落語を好きにさせるほどの実力派で、その演技力でメディアでも活躍しています。

名実ともに人気の二人が、一足早く笑いの花を咲かせます。



柳家喬太郎 © 横井洋司

ticket

【全席指定】一般3,500円

※未就学児は入場できません。(当日4,000円)

発売日

伝国の杜FC会員先行予約 12/7(水)~ 11(日) 一般発売 12/15(木)

伝国の杜こども狂言クラブ

置賜地方では、藩政の時代から今日まで金剛流能楽が受け継がれています。伝統文化「能楽」のひとつである狂言は、国語の教科書にも登場する日本古来の演劇です。 伝国の杜こども狂言クラブでは、能楽文化に親しんでほしいという想いから、春休みの能舞台での発表を目標に、 年間を通して、月1~2回の稽古をしています。

東京から招いたプロの狂言師の指導を受けながら、古くから使われる日本語のセリフや狂言独特の所作などを学び、日常生活で触れることのない貴重な体験もできます。また、足袋や扇、着物や袴などの扱いを学び、物を大切にするこころを育てています。



新メンバー募集中!

5 歳~中学生まで受付ています。

お気軽に置賜文化 ホールまでお問い 合わせください。

2022年度下半期出演予定

11月 5日(土) 置賜こども芸術祭(川西フレンドリープラザ) 11月20日(日) こども郷土芸能芸術まつり

(やまぎん県民ホール)

*9月現在の予定ですので、変更になることがあります。 展覧会 教育普及事業 ホール 新型コロナウイルス G: ギャラリートーク C: コレクショントーク 講:講演会 募集制ワークショップ (要事前申込・有料) (上杉文華館展示解説) (企画展示室展示解説) 感染症拡大防止に いずれも10:00~15:00~2回 自由参加制ワークショップ 常設展示室上杉文華館 ご協力ください。 (申込不要・無料) 企画展示室 年間テーマ 「関東管領上杉氏」 9 _{特別展} 上杉家伝来写真 前期 ~9月27日(火) ~華麗なる人脈、米沢との絆~ 9/17(土) 手指の消毒 幕府との結び付き 9月24日(土)13:00~15:30 10/16(日) 植物でそめよう G 9月17日(土)17:15~ 休館日 - 和紙のテキスタイルデザイン-10月22日(土) 9:15~ 9/28 要入館料、事前申込制、定員20名 9月 29日(木)~ 10月 25日(火) 10 講 10月 1日(土)14:00~16:00 応永の乱 後期 10月29日(土) ①10:30~/②13:00~ むかしむかしをきこう 「写真史から見る上杉家伝来写真の魅力」 マスク着用 10/22(土) C 10月2日(日) MAYA 三井 圭司 氏(公益財団法人東京都歴史文化財団学芸員) 11/20(日) フォルクローレ・コンサート 語り:米沢とんと昔の会 2階大会議室 聴講無料 休館日 10月27日(木)~ 11月23日(水祝) 事前申込制 定員80名 10/26 11 11月3日(木祝)13:30~15:30 講 11月5日(土)14:00~ 上杉禅秀の乱 だれもしらない博物館 「写真資料の修理と保存 11/3 博物館無料 入館日 東北文化の日 どなたでも 無料 C 11月6日(日) ~博物館バックヤードツア-11日27日(日) ~幕末明治の写真から現代の家族写真まで~」 山崎バニラの活弁大絵巻 三木 麻里 氏(写真保存修復) in よねざわ 2 階大会議室 要入館料 11月25日(金)~ 事前申込制 定員30名 12月25日(日) 12 10/22(土)~ 11/20(日) 国宝上杉本洛中洛外図屏風 武蔵守護 常設展示室で原本展示 密を避ける C 12月4日(日) 距離をとる コレクション展 2023 12/3(土) 1月2日(月振)~ 上杉文書をひらく 1 1/15(日) 1月29日(日) G 12月3日(土)17:15~ 永享の乱 1月7日(土)9:15~ C 1月8日(日) ■博物館チケット半券は 2 2月5日(日) 1月31日(火)~ 2月26日(日) 2週間程度保管下さい。 須川展也 with Quintet Prism (ご来館日がわかります。) コンサート 享徳の乱 ■ホール自主事業では C 2月5日(日) コレクション展 チケットご購入の際お名前、 2/11(土祝) 女性像の世界 ご住所など連絡に必要な情報 3月8日(水) 3 2月28日(火)~ 3月26日(日) いま見せたい! のご提供をお願いしています。 3月10日(金)19:00~20:30 伝国の杜春待ち寄席 3/21(火祝) Curator's Choice ナイトツアーようこそ夜の博物館へ アートコレクション 小遊三・喬太郎二人会 北条氏との抗争 G 2月18日(土)9:15~ ※記載内容に変更が生じる場合が □ 3月5日(日) あります。最新情報はお問合せ ください。

国宝上杉本洛中洛外図屏風 狩野永徳筆 室町時代

いなばどう

盂蘭盆会~因幡堂(右隻2扇)

因幡堂の境内に描かれた女性。デザインを凝らした提灯 籠を持っています。これは精霊を迎える灯でした。境内には 他にも提灯籠を持った人が描かれ、旧暦7月15日に行われ る、食物を捧げ、読経して精霊の冥福を祈る仏事・盂蘭盆会 に訪れた描写と理解されています。隣(画面すぐ上)の閻魔



堂(ゑんまだう)や燈籠堂ともいわれる浄教寺(ちやうきうじ)との関連もうかがわれる描 写です。

伝国の杜サポーター

伝国の杜の事業を表側と裏側とで支えてくださっているボランティアです。 現在、広報物の発送など、6つの分野で登録しています。

令和4年度会員入会受付中です♪

伝国の杜ファンクラブ

学ぶ

- ●博物館の展示を何度でも無料で ご覧いただけます。
- ホールチケットを先行予約、割引価格でご購入いただけます。
- ●伝国の杜だよりなどの情報をお届けします。
- ●ミュージアムショップ・カフェ等がお得に利用できます。

ファンクラブ入会申込書に年会費を添えて、 伝国の杜事務室にてお申込ください。 ■お問合せ 0238-26-8000

(年会費) 口一般会員 2.500円 □学生会員 1,000円 □ジュニア会員 500円 ※10月1日以降入会は会費半額

【ファンクラブ事業のお知らせ】 特別展「上杉家伝来写真」をもっと深める特別講座 10月7日(金)18:30~20:00 定員:30名

「伝国」という言葉は、米沢藩 9 代藩主上杉鷹山が天明 5 年(1785)上杉治広に家督を譲る際に藩主の心得として与えた「伝国の辞」に由来するものです。

※休館日等は管理の都合上変更する場合がありますので詳細はお問合せ下さい。 ◆利用案内◆

博物館開館時間:9:00~17:00(入館は16:30まで) 休館日:5~11月第4水曜日 12~3月毎週月曜日 (いずれも休日の場合はその直後の平日) 年末年始 12/26~1/1※1/2、3は開館(予定)。

博物館入館料:常設展 一般410(330) 高大生210(150)円 小中生110(60)円 -般410(330)円)内は20名以上の団体料金 **※**(※特別展・企画展は料金が異なります。 HP等でご確認下さい。

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1 上杉文化振興財団 Tel 0238-26-8000 米沢市上杉博物館 Tel 0238-26-8001 Tel 0238-26-2666 置賜文化ホール FAX(共通) 0238-26-2660



■発行/米沢市上杉博物館 山形県立置賜文化ホール ■編集/公益財団法人 米沢上杉文化振興財団 ■発行日/令和4年9月 ■印刷/株式会社青葉堂印刷

